

CS 熟議ワークショップの進め方

～例：子どもたちのために、学校・地域が連携してできること～

1 準備

グループ分け **4人がベース** 5人班にするなら3人班にした方がいい
保護者・地域住民・行政担当者・教職員が混ざるように構成

ルール確認 「必ず1回は発言する」「批判禁止」

* 「立場にこだわらず1人の大人として語り、アイデアを楽しむ」

2 現状共有 **「今、子どもたちや学校について気になっていること」**

グループ内で発表して共有

* 時間があれば、付箋に書いて、模造紙に貼って見える化する

例：「放課後の居場所がない」「ミシンの授業は大変」「挨拶が減った」など

3 理想の姿を描く **「どんな子どもに、どんな学校・地域になってほしいか」**

グループ内で発表して共有 ポジティブな未来を語る

例：「地域の人と自然に挨拶ができる子」「大人に憧れをもつ子」など

4 具体例の熟議 **「理想に近づくために、いっしょにできることは」**

* 学校から「やって」ではなく、「地域ができること」「一緒にできること」
に焦点化する

先進校の例

「家庭科のミシンの授業で地域住民が3人サポートに入る」

「朝の登校時に通学の花に水をやりながら見守る」

「通信を地域ボランティアが編集し、地域の掲示板に貼る」

4 共有とアクション

他のグループが出した **「一番ワクワクするアイデア」** を発表しあう

(自分のグループの意見でもOK)

「一番ワクワクするアイデア」を今後の検討課題にする